

テンセント (00700)

【セクター】 インターネット

【市場】 香港

【企業概要】

中国のゲームとSNS最大手。ヒットゲーム「王者荣耀」は2年連続で売上高世界1位に。中国最大のSNS「WeChat」を運営し、スマホ決済や広告サービスも提供。2018年にクラウドなど法人向け事業を成長分野に位置づけました。クラウドのシェアはアリババに次ぐ2位です。主な部門別売上高構成比（22.12期）は、付加価値サービス（ゲーム・SNS）が52%、フィンテック&法人向けサービスが32%、オンライン広告が15%です。新興EVメーカーのニオや多数のユニコーン企業に投資しています。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万人民元、EPS、1株配当、BPSは人民元、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

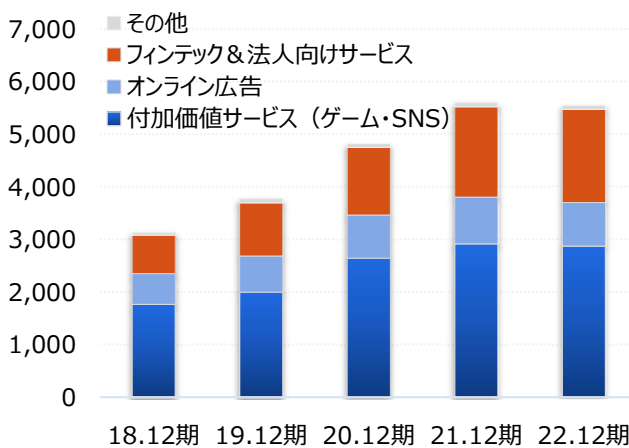
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
21.12期	560,118	123,788	12.70	1.30	83.9	29.8	54.4
22.12期	554,552	115,649	11.84	2.40	75.4	24.6	49.6
23.12期（予）	616,300	155,590	15.98	2.02	90.3	16.4	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

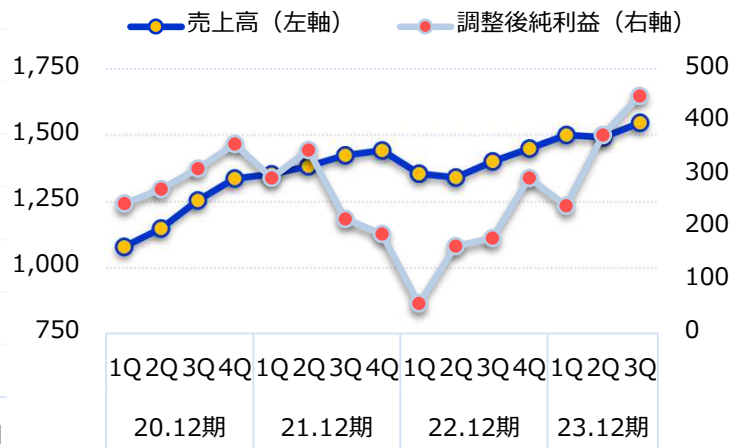
【主要指標】

部門別売上高の推移（通期ベース、億元）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

売上高と調整後純利益の推移（四半期ベース、億元）



（出所）BloombergデータによりSBI証券作成

【会社の見方】

ゲームやSNSなどを通じて個人向けインターネットに根を張りつつ、2018年以降は産業向けインターネットへの取り組みに注力しています。中国当局によるネット大手への規制強化を受け、2021年以降はクラウドや海外ゲーム事業を成長分野に据え、投資を拡大しています。なお、中国当局は2022年3月に「ネット大手の是正をできるだけ早く完了」させる意向を示しました。規制の最も厳しい時期は去りつつあるようです。今後（22.12期以降）は規制強化の終了に伴うゲームやオンライン広告事業の持ち直しのペースや、クラウドなど法人向けサービスと海外ゲーム事業の高成長維持の可否が、注目点となりそうです。

【見通し・注目点】

3Qは中国国内ゲームが前年同期比5%増収にとどまりましたが、フィンテック・法人向けサービス（決済業務とクラウド事業が含まれている）とオンライン広告はいずれも2桁の増収率となり、市場予想を上振れました。利益率が予想以上に改善し、純利益も市場予想を上回りました。大規模言語モデル「Hunyuan」と将来のAIアシスタント製品・サービスについて経営陣は、まだコンセプト設計の初期段階であるとコメント。AI半導体については、「私たちは中国の全プレーヤーの中で最大規模のAIチップの在庫を持っている。少なくともあと2、3世代の「Hunyuan」の開発を続けるのに十分なチップを確保している」と表明しました。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。